

OUI Inc.

NEWSLETTER

2022年 10月15日 / Vol 5

OUI Inc.がモザンビークでのパイロット実証をスタート!

2022年9月にOUI Inc.の中山がSmart Eye Cameraのパイロット実証のためにアフリカのモザンビーク共和国を訪問しました。モザンビークには人口3,100万人に対し眼科医が32名しかおらず、特に地方部における眼科医療へのアクセスの難しさが大きな課題となっています。



まず、モザンビーク北部のナンブラ州を訪問し、ルリオ大学を訪問しました。ルリオ大学にはモザンビークで初めて設立された検眼医（オプトメトリスト）の養成コースがあり、現在120名の学生が学んでいます。ナンブラ州全体で眼科医は3名しかいないため、彼ら検眼医が地域の人々の眼の健康改善のために果たすべき役割はとても大きいものがあります。

私たちは検眼医コースの教員・学生と協働して、Smart Eye Cameraを使ったコミュニティスクリーニングの実証をスタートしました。まずルリオ大学近郊のムアタラという集落を訪問し、各家庭を回って、住民の方々の眼をSmart Eye Cameraで撮影しました。撮影したデータはクラウドサーバーにアップロードされ、日本の眼科医が撮影画像を観察し、SECのソフトウェアを使って評価する遠隔診断も実施しました。滞在中に200名以上の住民の方々の眼のスクリーニングを実施することができ、非常に良いスタートを切ることができました。今後もコミュニティスクリーニングを継続して行い、その結果をルリオ大学と共同で研究論文としてまとめて発表することを目指します!

また、モザンビーク首都のマプトでは、Maputo Central HospitalとDr. Agarwals Eye Hospitalを訪問し、現地の眼科医の先生に対するSmart Eye Cameraの紹介と今後の協働に向けた意見交換を行いました。眼科医の先生方もSmart Eye Cameraに非常に興味を持って下さり、協働に向けて非常に前向きな協議を行うことができました!

OUI Inc.は今後とも、医療機関・教育機関をはじめ、世界中の医療関係者の方々と協働して、エビデンス・ファーストを追究しながら、世界の失明問題を克服するために活動を続けてまいります!

SEC
Smart Eye Camera

今回実証を行った医療機関:

- Hospital Central de Maputo
- Dr. Agarwals eye hospital
- Lurio University





OUI Inc.では協働して実証を進めて下さるパートナーを募集中です!

OUI Inc.は、Smart Eye Cameraを使って、眼科医療へのアクセスが難しい、途上国の農村や医療過疎地域などの患者さんに眼科の診断を届け、現地の眼科医・医療機関と連携して治療までつなげるモデルを共創することで、2025年までに世界の失明を半分にすることをビジョンに掲げています。

これまでアジア・アフリカ・南米を始め、世界20か国以上でパイロット実証を進めています。日本では医療機器登録済みで、眼科クリニックや、離島や地方の医療過疎地域の診療所、訪問診療クリニック等での導入が進んでいます。

より多くの患者さんに眼科医療を届けるために、日本でも世界でも、各地の医療現場で活躍されている先生方・医療従事者の方々と連携して、Smart Eye Cameraを使った眼科の遠隔診断モデルの実証を進めていきたいと思っています。

ご興味のある方は、是非ご連絡いただけますと幸いです!

担当窓口:

Department of Global Business, OUI Inc.

中山 慎太郎: p.shintaro@ouiinc.jp

石丸 莉奈: ri.univ8@gmail.com

OUI Inc.ウェブサイト: www.ouiinc.jp

OUI Inc. Medium (最新の活動状況はこちらから):

<https://ouiinc.medium.com/>

